



第7回タクティール®ケア I コース終了

平成25年度認知症緩和ケア研修セミナー第7回タクティール®ケア I コースが、1月18日・19日室蘭市の特別養護老人ホームみたらの杜にて開催されました。

介護・看護の現場でご活躍の方2名の参加をいただき、オイルの優しい香りに包まれた2日間の講座を終えました。「介護現場で長年認知症の方への介護に関わり、あの手この手で工夫をし、色々とチャレンジしてきました。今回ようやく受講の機会に恵まれ参加できました。」

「去年こちら（みたらの杜）での体験セミナーに参加し、効果が確認できたので、患者さんや身近な方（家族）のために役に立ちたい」とおっしゃられ、それは誰かのために自分が変わりたい、新しい介護方法、ケアの手法を学びたいというお気持ちの表れと感ぜずにはられません。

認知症という病気によって、今までできたことが上手くできなくなる、とてもつらく不安な気持ちに包まれ、どうしたらいいかわからなくなることも・・・ そんな時にそっと手を添えて、「どうぞ安心して下さい、私はそばにおりますよ」とやさしく手に触れる、背中をさする。身近にいる方だからこそできる“触れる”というケア。今回もお二人の方が、しっかりと手技を学ばれ現場へとお戻りになられました。

触れることは何よりも気持ちが伝わりやすくなります。介護や看護は触れるということを経験せずに成り立ちません。良い関係性を築くためにもコミュニケーションは重要で、それは良いコミュニケーションから生まれます。“その方のため”だけに使うことの出来る時間をタクティールケアがもたらしてくれるんです。

講座では、「手技をうまく覚えられるだろうか」という不安？もお聞きすることがあります。しかし、講座終了後には「すぐに実践してみます。」「早く、〇〇さんにしてあげたい。」などという感想をいただき、ますますファン（笑）になるようです。お休みの貴重な2日間というお時間をいただきました。受講ありがとうございます。

今後の皆様のお仕事のお役に立ち、或いはスキルの一助になれば幸いです。受講されたみなさん、実習頑張ってくださいね。応援しています。

今後は、フォローアップセミナーも随時開催して参りますので、講座受講いただきました皆様、それまでの間、実習に取り組んでいただき、是非認定試験を目標にしてください。

ありがとうございました。

【研修内容】

- 第1日目 タクティールケア理論
背中のタクティールケア
手のタクティールケア
- 第2日目 足のタクティールケア
三種（背中・手・足）のタクティールケアの復習
認知症緩和ケア理念紹介
質疑応答・ディスカッション



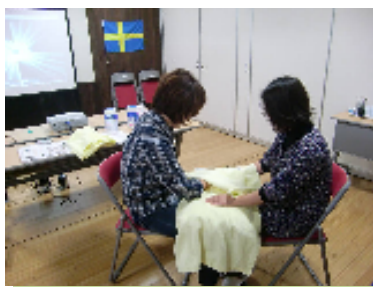
修了証書を手記念撮影（特養みたらの杜）

第7回タクティールケア I コース担当講師
シルヴィアホーム認定インストラクター
鈴木卓也

（所属：東京 日本スウェーデン福祉研究所）



足のタクティールケア



手のタクティールケア



背中のタクティールケア

— 受講風景（第7回） —